



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 東大

上場会社名 タイガースポリマー株式会社  
 コード番号 4231 URL <http://tigers.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 渡辺 健太郎  
 (氏名) 井上 宏章

TEL 06-6871-8060

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	21,055	18.2	1,484	—	1,456	—	788	—
22年3月期第3四半期	17,810	△30.7	76	△90.6	112	△86.9	△83	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	39.38	—
22年3月期第3四半期	△4.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	26,328	19,272	70.8	931.61
22年3月期	26,145	18,889	70.0	914.18

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 18,646百万円 22年3月期 18,297百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	3.00	—		
23年3月期(予想)				3.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	6.7	1,500	283.4	1,500	228.7	700	233.7	34.97

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 20,111,598株 22年3月期 20,111,598株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 96,651株 22年3月期 96,294株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 20,015,089株 22年3月期3Q 20,015,673株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、景気に持ち直しの兆しが見られたものの、雇用・所得環境が厳しい状況であり、さらに、経済対策の縮小や世界的な景気減速懸念により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、自動車生産台数の増加や家電需要の回復等を受け、売上高21,055百万円(前年同四半期比3,245百万円 18.2%増加)、営業利益1,484百万円(前年同四半期比1,408百万円 1,849.6%増加)、経常利益1,456百万円(前年同四半期比1,343百万円 1,194.0%増加)、四半期純利益788百万円(前年同四半期は四半期純損失83百万円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ183百万円増加し、26,328百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が385百万円増加したこと、棚卸資産が220百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ199百万円減少し、7,056百万円となりました。これは主として、長期借入金が300百万円増加したこと、退職給付引当金が183百万円増加したこと、短期借入金が800百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ382百万円増加し、19,272百万円となりました。これは主として、利益剰余金が668百万円増加したこと、為替換算調整勘定が326百万円減少したことによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末に比べ109百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には5,545百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、1,781百万円(前年同四半期比76.2%増加)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,299百万円、減価償却費1,096百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額489百万円、たな卸資産の増加額272百万円等であります。

投資活動の結果支出した資金は、1,145百万円(前年同四半期比15.8%減少)となりました。支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出609百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出727百万円等であります。

財務活動の結果支出した資金は、620百万円(前年同四半期比1,404.5%増加)となりました。収入の主な内訳は、短期借入れによる収入850百万円、長期借入れによる収入300百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の返済による支出1,650百万円等であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年10月29日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

##### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ②特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①会計処理基準に関する事項の変更

（「資産除去債務に関する会計基準」等の適用）

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は0百万円、税金等調整前四半期純利益は15百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は18百万円であります。

#### ②表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示していません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,134	7,018
受取手形及び売掛金	6,558	6,173
商品及び製品	1,238	1,097
仕掛品	229	182
原材料及び貯蔵品	779	746
繰延税金資産	90	152
その他	270	274
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	16,295	15,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,833	7,984
減価償却累計額	△4,878	△4,770
建物及び構築物(純額)	2,954	3,214
機械装置及び運搬具	17,087	17,764
減価償却累計額	△14,889	△14,999
機械装置及び運搬具(純額)	2,198	2,764
工具、器具及び備品	5,980	5,924
減価償却累計額	△5,584	△5,417
工具、器具及び備品(純額)	396	506
土地	1,600	1,612
建設仮勘定	734	399
有形固定資産合計	7,884	8,497
無形固定資産	202	236
投資その他の資産		
投資有価証券	1,455	1,305
繰延税金資産	270	224
その他	230	248
貸倒引当金	△10	△7
投資その他の資産合計	1,946	1,770
固定資産合計	10,032	10,504
資産合計	26,328	26,145

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,745	2,619
短期借入金	850	1,650
未払金	1,063	1,075
未払法人税等	188	172
賞与引当金	88	208
役員賞与引当金	0	1
その他	133	42
流動負債合計	5,070	5,769
固定負債		
長期借入金	450	150
退職給付引当金	1,224	1,041
資産除去債務	18	—
繰延税金負債	10	9
その他	281	285
固定負債合計	1,985	1,486
負債合計	7,056	7,255
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,149	4,149
資本剰余金	3,900	3,900
利益剰余金	11,961	11,293
自己株式	△51	△51
株主資本合計	19,960	19,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	181	173
為替換算調整勘定	△1,495	△1,168
評価・換算差額等合計	△1,314	△994
少数株主持分	626	592
純資産合計	19,272	18,889
負債純資産合計	26,328	26,145

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	17,810	21,055
売上原価	14,757	16,534
売上総利益	3,053	4,521
販売費及び一般管理費	2,977	3,037
営業利益	76	1,484
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	21	21
不動産賃貸料	13	13
その他	55	37
営業外収益合計	108	91
営業外費用		
支払利息	18	12
不動産賃貸原価	3	3
為替差損	43	88
その他	6	14
営業外費用合計	71	118
経常利益	112	1,456
特別利益		
固定資産売却益	0	2
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	12	12
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	25	40
ゴルフ会員権評価損	0	5
仕入取引価格調整損	—	83
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15
特別損失合計	38	158
税金等調整前四半期純利益	76	1,299
法人税、住民税及び事業税	146	415
法人税等調整額	△49	12
法人税等合計	97	427
少数株主損益調整前四半期純利益	—	871
少数株主利益	61	83
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83	788

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	76	1,299
減価償却費	1,274	1,096
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△39	△40
支払利息	18	12
為替差損益(△は益)	35	66
投資有価証券評価損益(△は益)	25	40
固定資産売却損益(△は益)	0	△1
固定資産除却損	12	12
仕入取引価格調整損	—	83
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15
売上債権の増減額(△は増加)	△388	△489
たな卸資産の増減額(△は増加)	416	△272
仕入債務の増減額(△は減少)	△486	175
その他	4	137
小計	934	2,138
利息及び配当金の受取額	37	41
利息の支払額	△4	△13
法人税等の支払額	42	△384
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,011	1,781
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△609	△609
定期預金の払戻による収入	1	369
有形及び無形固定資産の取得による支出	△743	△727
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	2
投資有価証券の取得による支出	△6	△280
投資有価証券の売却による収入	—	2
投資有価証券の償還による収入	—	100
その他	△3	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,361	△1,145
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	74	850
短期借入金の返済による支出	△74	△1,650
長期借入れによる収入	150	300
長期借入金の返済による支出	△150	—
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△39	△120
少数株主への配当金の支払額	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41	△620
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△124
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△425	△109
現金及び現金同等物の期首残高	4,910	5,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,484	5,545

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。